

# クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成30年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	172
		2号炉	4,452
		3号炉	4,451

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月1日	936	800 以上
		2号炉	4月30日	939	
		3号炉	4月30日	952	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月1日	170	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	170	
		3号炉	4月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月1日	9	100 以下
		2号炉	4月30日	8	
		3号炉	4月30日	10	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h		
ばいじん	1回/2月				ppm			
塩化水素	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N	
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm	
全水銀	1回/4月			µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	4月19日	5月11日	0.40 m <sup>3</sup> N/h	85.3 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					12 ppm		
塩化水素	1回/2月					<0.00065 g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					20 mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					12 ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月			73 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			0.50 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	4月26日	5月22日	0.43 m <sup>3</sup> N/h	85.5 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					13 ppm		
塩化水素	1回/2月					<0.00069 g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					32 mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					19 ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月			68 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			0.42 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>			

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成30年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,154
		2号炉	4,605
		3号炉	4,496

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	927	800 以上
		2号炉	5月31日	939	
		3号炉	5月31日	952	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	170	
		3号炉	5月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	9	100 以下
		2号炉	5月31日	8	
		3号炉	5月31日	11	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	5月29日	6月19日	0.48 m <sup>3</sup> N/h 14 ppm	86.7 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					<0.00062 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					35 mg/m <sup>3</sup> N 21 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					71 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					4.5 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月					煙突 (サブリング*口)	2号炉
ばいじん	1回/2月	g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N				
塩化水素	1回/2月	mg/m <sup>3</sup> N ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N				
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	/	/		
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成30年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,442
		2号炉	4,437
		3号炉	1,231

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	936	800 以上
		2号炉	6月30日	945	
		3号炉	6月30日	937	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	170	
		3号炉	6月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	10	100 以下
		2号炉	6月30日	8	
		3号炉	6月30日	9	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h		
ばいじん	1回/2月				ppm			
塩化水素	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N	
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	6月12日	6月28日	0.35 m <sup>3</sup> N/h	83.4 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					12 ppm		
塩化水素	1回/2月					<0.00082 g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					20 mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					12 ppm		180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	0.89 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	
ばいじん	1回/2月					m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
塩化水素	1回/2月					ppm	0.08 g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	
全水銀	1回/4月					mg/m <sup>3</sup> N	180 ppm	

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成30年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,221
		2号炉	1,456
		3号炉	4,193

項目	データ	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)		燃焼室 出口	1号炉	7月31日	936	800 以上
			2号炉	7月10日	941	
			3号炉	7月31日	940	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)		集じん器 入口	1号炉	7月31日	170	概ね 200 以下
			2号炉	7月10日	170	
			3号炉	7月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)		集じん器 出口	1号炉	7月31日	9	100 以下
			2号炉	7月10日	7	
			3号炉	7月31日	9	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>		1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
				2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
				3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	7月10日	7月30日	0.21 m <sup>3</sup> N/h	84.1 m <sup>3</sup> N/h
		6.9 ppm						
ばいじん		1回/2月					<0.00073 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素		1回/2月					6.9 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
		4.2 ppm						
窒素酸化物		1回/2月					76 ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月	12 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
		ppm						
ばいじん		1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素		1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
		ppm						
窒素酸化物		1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月	µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	7月10日	7月30日	0.22 m <sup>3</sup> N/h	83.8 m <sup>3</sup> N/h
		7.2 ppm						
ばいじん		1回/2月					<0.00073 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素		1回/2月					14 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
		9.1 ppm						
窒素酸化物		1回/2月					67 ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月	1.1 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成30年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,520
		2号炉	3,103
		3号炉	4,497

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月24日	938	800 以上
		2号炉	8月31日	948	
		3号炉	8月31日	943	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月24日	170	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	170	
		3号炉	8月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月24日	9	100 以下
		2号炉	8月31日	7	
		3号炉	8月31日	9	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	8月9日	9月26日	0.000099 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	8月21日	10月5日	0.0011 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	8月21日	10月5日	0.00018 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm	0.08 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N	180 ppm	
全水銀	1回/4月				ppm	50 µg/m <sup>3</sup>	
					µg/m <sup>3</sup>		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	8月16日	8月30日	0.13 m <sup>3</sup> N/h	84.5 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					4.2 ppm	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					<0.00071 g/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					13 mg/m <sup>3</sup> N	180 ppm
全水銀	1回/4月					8.3 ppm	50 µg/m <sup>3</sup>
						70 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	180 ppm
全水銀	1回/4月					ppm	50 µg/m <sup>3</sup>
						µg/m <sup>3</sup>	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成30年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	4,470
		3号炉	4,465

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月30日	—	800 以上
		2号炉	9月30日	943	
		3号炉	9月30日	941	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月30日	—	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	170	
		3号炉	9月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月30日	—	100 以下
		2号炉	9月30日	7	
		3号炉	9月30日	9	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉 2号炉 3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N ng-TEQ/m <sup>3</sup> N ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm	0.08 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N	180 ppm	
全水銀	1回/4月				ppm	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月				µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm	0.08 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N	180 ppm	
全水銀	1回/4月				ppm	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月				µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	9月4日	9月27日	0.22 m <sup>3</sup> N/h	83.8 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					7.3 ppm	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					<0.00074 g/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					14 mg/m <sup>3</sup> N	180 ppm
全水銀	1回/4月					8.9 ppm	50 µg/m <sup>3</sup>
窒素酸化物	1回/2月					74 ppm	180 ppm

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成30年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	231
		2号炉	4,610
		3号炉	4,606

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	920	800 以上
		2号炉	10月31日	939	
		3号炉	10月25日	944	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	10月31日	170	
		3号炉	10月25日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	9	100 以下
		2号炉	10月31日	8	
		3号炉	10月25日	11	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		
窒素酸化物	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		
全水銀	1回/4月				ppm		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	10月11日	10月30日	0.34 m <sup>3</sup> N/h	81.9 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					12 ppm	
塩化水素	1回/2月					<0.00060 g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月					32 mg/m <sup>3</sup> N	
全水銀	1回/4月					19 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	10月18日	11月8日	85 ppm	180 ppm
ばいじん	1回/2月					0.38 µg/m <sup>3</sup>	
塩化水素	1回/2月					0.28 m <sup>3</sup> N/h	
窒素酸化物	1回/2月					7.6 ppm	
全水銀	1回/4月					<0.00065 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月	24 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N				
窒素酸化物	1回/2月	15 ppm					
全水銀	1回/4月	74 ppm	180 ppm				
		1.0 µg/m <sup>3</sup>		50 µg/m <sup>3</sup>			

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成30年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,460
		2号炉	4,467
		3号炉	202

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	931	800 以上
		2号炉	11月30日	942	
		3号炉	11月1日	930	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	170	
		3号炉	11月1日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	11	100 以下
		2号炉	11月30日	9	
		3号炉	11月1日	10	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング*口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	1号炉	11月8日	11月29日	0.77 m <sup>3</sup> N/h 22 ppm	86.6 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					<0.00070 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					34 mg/m <sup>3</sup> N 21 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					70 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月					m <sup>3</sup> N/h ppm	— m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	2号炉	/	/	g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月					m <sup>3</sup> N/h ppm	— m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月	煙突 (サブリング*口)	3号炉	/	/	mg/m <sup>3</sup> N ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。



# クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成30年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,564
		2号炉	4,565
		3号炉	917

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	934	800 以上
		2号炉	12月31日	944	
		3号炉	12月31日	924	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	170	
		3号炉	12月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	12	100 以下
		2号炉	12月31日	9	
		3号炉	12月31日	10	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (チンブリング®口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チンブリング®口)	1号炉	12月6日	12月28日	0.62 m <sup>3</sup> N/h 19 ppm	85.0 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					<0.00066 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					28 mg/m <sup>3</sup> N 17 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					78 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					2.7 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月					煙突 (チンブリング®口)	2号炉
ばいじん	1回/2月	<0.00071 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N				
塩化水素	1回/2月	24 mg/m <sup>3</sup> N 14 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N				
窒素酸化物	1回/2月	65 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チンブリング®口)	3号炉	/	/		
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成31年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,871
		2号炉	1,522
		3号炉	2,779

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月31日	937
		2号炉	1月11日	953
		3号炉	1月31日	943
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月31日	170
		2号炉	1月11日	170
		3号炉	1月31日	170
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月31日	11
		2号炉	1月11日	8
		3号炉	1月31日	10

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月				ppm	
塩化水素	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N	
全水銀	1回/4月				ppm	
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	ppm	180 ppm
ばいじん	1回/2月				µg/m <sup>3</sup>	
塩化水素	1回/2月				m <sup>3</sup> N/h	
窒素酸化物	1回/2月				ppm	
全水銀	1回/4月				g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	1月8日	ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月				0.38 m <sup>3</sup> N/h	
全水銀	1回/4月				10 ppm	
ばいじん	1回/2月				<0.00074 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月				23 mg/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月	14 ppm	1月29日	200 mg/m <sup>3</sup> N		
全水銀	1回/4月	73 ppm	180 ppm			
窒素酸化物	1回/2月	0.43 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>			

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成31年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,159
		2号炉	—
		3号炉	4,149

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月28日	934	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月28日	943	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月28日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月28日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月28日	11	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月28日	9	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉 2号炉 3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N ng-TEQ/m <sup>3</sup> N ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	2月7日	2月27日	0.29 m <sup>3</sup> N/h 8.4 ppm	85.9 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					<0.00065 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					31 mg/m <sup>3</sup> N 19 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					69 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					0.89 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月					煙突 (サブリング口)	2号炉
ばいじん	1回/2月	g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N				
塩化水素	1回/2月	mg/m <sup>3</sup> N ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N				
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/		
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(平成31年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,444
		2号炉	2,746
		3号炉	4,442

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	920	800 以上
		2号炉	3月31日	931	
		3号炉	3月31日	938	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	170	
		3号炉	3月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	11	100 以下
		2号炉	3月31日	6	
		3号炉	3月31日	8	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	3月7日	3月28日	0.095 m <sup>3</sup> N/h	85.7 m <sup>3</sup> N/h		
ばいじん	1回/2月					<0.00069 g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月					22 mg/m <sup>3</sup> N			200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					13 ppm			
全水銀	1回/4月					65 ppm			
		μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>						
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	3月19日	3月29日	0.62 m <sup>3</sup> N/h	83.4 m <sup>3</sup> N/h		
ばいじん	1回/2月					<0.00073 g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月					30 mg/m <sup>3</sup> N			200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					18 ppm			
全水銀	1回/4月					67 ppm			
		0.40 μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>						
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	3月7日	3月28日	0.12 m <sup>3</sup> N/h	86.0 m <sup>3</sup> N/h		
ばいじん	1回/2月					<0.00066 g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月					15 mg/m <sup>3</sup> N			200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					9.6 ppm			
全水銀	1回/4月					71 ppm			
		μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>						

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。